

申請 詳細

印刷実行 | 枠線付与 | 印刷モード解除

[※]は入力必須項目です。

1時間以上経過すると入力データが消失します。画面下部にある一時保存ボタンで、入力内容をこまめに保存することをおすすめします。

04CANPAN団体IDの「参照」ボタンを押して、団体を検索・選択して下さい。

申請書上部のCANPAN団体情報の一部が空白の場合、CANPANで団体情報変更を行い、再度団体IDを参照しご登録ください。

申請内容の入力にあたり、次のリンクをご参照ください。

[①インターネット申請マニュアル](#) [②インターネット申請の入力項目](#)

申請情報

01申請番号 15494
02ユーザID info@nicochan.jp 03申請状況 申請済み

CANPAN団体情報

04CANPAN団体ID [1626777542](#) 05法人の種類
hidden_CANPAN団体ID
06団体名 ニコちゃんの会 07団体名ふりがな えぬびーおーほうじんにこちゃんのかい
08郵便番号 814-0153 09都道府県 福岡県
10郡市区町村 福岡市城南区 11郡市区町村ふりがな ふくおかしじょうなんく
12詳細住所 樋井川6-37-8 13詳細住所ふりがな ひいかわ
14電話番号 092-863-5903 15連絡先区分 事務所・勤務先
16連絡可能時間 9時00分～18時00分 17連絡可能曜日 月 火 水 木 金
18備考
19FAX番号 092-862-0597 20連絡先区分 事務所・勤務先
21連絡可能時間 9時00分～18時00分 22連絡可能曜日 月 火 水 木 金
23備考
24URLリンク名 [団体ホームページ](#)
26メールアドレス info@nicochan.jp
27代表者氏名 森山 淳子 28代表者ふりがな もりやま じゅんこ
29代表者役職 代表理事 30代表者兼職
31設立年月日 1992年4月1日

32設立以来の主な活動実績

当法人は、1992年に設立した任意団体ニコちゃん通信の会、1996年に設立した任意団体お遊び助っ人企画の想いを受け継ぎNPO法人として新たに設立した団体です。
ニコちゃん通信の会は、1992年に障がい児の親たちによって誕生しました。以来『『障害児』の親ってけっこうイじやん』(ぶどう社)の出版、社会福祉事業団の助成を受けて作成した子育て支援マップ「らいふ」の発刊、学習会、後援会、ニコちゃんどんたく隊として祭りへの参加、ネットワークづくりなど幅広くさまざまな活動を実施してきました。そして全国に600人をこえる会員のみなさんとのつながりを持つことになりました。

ニコちゃん通信の会の設立時のメンバーの一人、森山淳子(当法人代表理事)は、1996年からニコちゃん通信の活動に合わせて、障がい児の親、健常児の親、子どもを亡くした経験のある親として、何かできることがあるはずと考えました。そして、「ハンディに関わらずこころ豊かな人生おくらよ」をモットーに余暇や遊び、文化芸術活動などの社会参加に特化したお遊び助っ人企画を設立しました。この活動では、年齢や障がいの区別なく一緒に遊び、関わりを持つ中で育まれていく豊かな瞬(とき)を提供してきました。

当法人は、ニコちゃん通信の会やお遊び助っ人企画といった活動を経て、「どんなに病気や障がいがかたくても、楽しく普通に暮らせるこころ豊かな人生を生き抜く」というスピリッツを受け継ぎ、設立しました。

○ニコちゃん通信の会

1992年～「ニコちゃん通信の会」設立

○お遊び助っ人企画

1996年 文化芸術活動・アウトドア活動等社会参加に特

重い病気や障がいのある人とその家族、そして医療、介護を提供する人も含めたその周りにいるあらゆる人が互いに「こころ豊かに過ごす」ことができる社会をつくることを目的としています。

私たちは、「重い病気や障がいのある人、その家族はもちろん、自分たちも共に楽しく」を大切にしています。互いに笑って泣いて、慰め合って、時には叱って、喧嘩をすることもありますが、それが日常を共にする上では当たり前のごとであり、おのおのありのままに、こころ豊かであることを大切に、活動に取り組んでいます。

【よかプロジェクト】

当法人独自の様々なイベントを企画して皆と豊かな時間を作ります。

その他にも、重い病気や障がいがあることで自分だけでは実現することが困難である非日常的な事柄をサポートするプロジェクトを行っています。(本人や家族の熱い想いや緊急性などを考慮して申し出のあった中から検討しています。)

【すっごい演劇アートプロジェクト】

33団体の目的、団体の活動・業務

日常に演劇・身体表現・絵画・音楽など様々なアート、そして人とのコミュニケーションを持ちこむアートプロジェクトです。精神的発達や社会性を育むことができる状況を作っていく活動や、芸術性を追求する活動など、アートを感じし共に創りだしていく中で豊かな心を持って“ひととき”の創出に取り組んでいます。

【@(アット)ホームプロジェクト(障がい福祉サービス)】

実際に重い病気や障がいのある子どもと過ごした経験のあるスタッフを中心に居宅介護、ガイドヘルプ、相談支援を行います。

【啓発活動、研究開発】

ハンディの有無に関わらず、一人ひとりがありのままに暮らしていける社会づくりの基礎となる活動です。

追加団体情報

34代表者略歴
1988年長女重度心身障害児出産1991年次女三女出産後長女を亡くす1992年重い障害のある子の親で構成されたニコちゃん通信の会発足通信誌や学習会等を通じネットワークの構築を目的に活動2009年発刊休止1996年 障害児・健全児の親・子どもを亡くした親、この三つの経験を活かし障害に関わらず心豊かな人生送ろうよをモットーにお遊び助っ人企画を立ち上げ、文化芸術アウトドア等を通して社会参加の場の提供に特化した活動をスタートする2012年これまでの活動を集約し更に充実させ社会的意味のあるものにしていくため法人化

代表者の略歴を時系列で入力(学歴は不要)、255文字以内

35所管官庁 その他 36所管官庁が「その他」の場合記入 福岡市

37所管官庁局課名 市民局市民公益活動推進課

所管官庁については、一般社団法人、一般財団法人、任意団体の場合、入力不要

38前年度決算総額 24,180,667 39前年度事業費総額 22,466,888

団体の支出総額を入力 決算総額のうち、事業費の総額

40役員数 6 41業務(活動)日数 25

常勤の役員数の合計を入力 月当たりの団体活動日数

42受益者数

43加盟団体

44会員数・単位 個人223名 法人13法人

45会費 寄附個人3000円法人10000円

利用会員・賛助会員など種類別に個人・団体をわけて入力

46団体の備考

団体名称や法人格の変更、団体の合併等があった場合、今回申請する事業の実施にあたって関連する資格所有者
(例: 准認定・認定ファンドレイザー資格 等)がいる場合は入力(700文字以内)

担当者情報

申請内容の問い合わせができる方

47勤務先名 48部署・役職

郵送先が勤務先の場合のみ入力、自宅の場合は入力不要

49担当者氏名 森山淳子 50氏名ふりがな もりやまじゅんこ

51郵便番号 8140153 52都道府県 福岡県

53郡市区町村 福岡市城南区樋井川 54郡市区町村ふりがな 福岡市城南区樋井川

55詳細住所 6-37-8 56詳細住所ふりがな 6-37-8

57電話番号1 09081775042 58連絡先区分 その他

61連絡可能曜日 月～金

62備考 常時連絡が可能です

電話がつながりやすい順に「電話番号1」及び「電話番号2」を入力

63電話番号2 0928635903 64連絡先区分 勤務先

67連絡可能曜日 月～金

68備考

69FAX番号 70連絡先区分

73連絡可能曜日

74備考

75メールアドレス info@nicochan.jp

事業情報

76事業名	身体に障がいのある人との芸術性の高い表現追求と社会的概念を変えていくための活動 事業内容を端的に表してください		
77支援の柱	豊かな文化	78継続ID	日本財団から助成を受けた事業を継続申請する場合は入力
79目的	<p>申請事業に最も当てはまるものを選択する場合は入力</p> <p>当団体の実現しようとするのは、身体に障がいのある人と共に、妥協のない表現への挑戦をし、芸術性の高い舞台を創り上げることである。現在絵画や音楽、ダンス等の分野では、障がいのある人でも活躍の場を広げられるようになって来た、しかしながら演劇となると、彼らは、通常のワークショップやオーディション等を受ける機会がほとんどなく、「福祉」の枠の中で守られると同時に多くの制限とともに生きている現状がある。適切なサポートのもと、彼らの表現の可能性を引き出し、公演を行うことで、彼らの可能性を社会にアピールし、障がい者という障害を社会から外すことができる場の一つになると考える。</p> <p>350文字以内で入力</p> <p>本事業では、身体に障がいのある人と彼らとの創作に関心を持つ演劇経験者が俳優となった多様な属性で構成される演劇を、普段私たちが観劇している芸術性の高い公演と同じ目線で観て感じてもらうことを達成したい状態とする。当団体では、国内外の先進的な障がい者芸術表現に携わった実績のある演出家(倉科淳子:「山の手事情社」所属)と共同しながら2007年より演劇ワークショップや俳優講座等を行いつつ、日常生活の中で保護される一方で制約を受けている、身体に障がいのある人たちの持つ「声」や「身体」を引き出すことを実践してきた。2015年には、講座の参加者からキャストを選出し、福岡において公演を行った。福岡での公演を観劇した人からは、「障がいのある人だということを忘れていた」「障がいがある人ということよりもすごい個性だなと感じた」「障がいのある人も高齢の女性も、ひとりひとりがキャラクターにマッチしていて、またすごいエネルギーを発していて惹きつけられた」といった様々な感想を得た。このような観客の評価から、身体に障がいのある演者の持つ個性を活かし、観客が惹きこまれる高い芸術性のある演劇表現を作り上げること、それによって社会を象徴する観客の抱いていた障がい者観を揺らかし、障がい者という固定観念を払拭しうることを実感した。また、演劇の稽古から公演までの過程の中で得るものは、演者の自信に大きく繋がっていくことも見出せた。本事業は、この福岡公演を踏まえた上で、さらなる表現力の向上及び芸術性の追求と、より多くの場では社会にある障がい者への概念を払拭することを大きな目票として、28年7月の東京・関西での公演を目指している。</p> <p>700文字以内で入力</p> <p>「BUNNA」公演の開催 (1)時 期: 2016年7月16・17日23・24日 全4回公演 (2)会場: 明治安田生命 マイプラザホール・ビックアイ (3)演出: 倉品淳子 劇団山の手事情社 俳優。演出家。福岡県出身で現在は東京で活動する。当法人のアートプロジェクトのチーフプロデューサーとして、平成19年から継続的に携わっている。 (4)出演: 身体に障がいのある人と演劇経験者 (5)内 容: ■身体に障がいのある人と彼らとの作品創りに関心のある演劇経験者による演劇作品を創る。 ■上演作品:「BUNNA」 ■あらずじ／ある日、若いカエルのブンナはちっぽけな池で暮らすのに飽き足らなくなり、新天地を見つけようと大きな木に登る。しかし頂上はトビの餌置場であった。餌としての雀やネズミ、蛇が現れ、弱肉強食の攻防がくりひろげられる。傷ついたネズミは自分の死んだ身体から虫が湧いてくるから、それを食べると言い残して息絶える。生物の輪廻転生から生きる意味をも問いかける水上勉の代表作の一つ。 ■上記の作品をモチーフに、寸劇やダンスなどのシーンをグループワークで創作し、それらの作品と、「ブンナよ木からおりてこい」の抜粋シーンを構成して公演する。抜粋シーンでは、障がいを持つがゆえに、弱者として扱われることの多い彼らが、時には絶対的な強者として舞台に存在することで、見る者は価値観を揺るがされ、新しい視点を発見できる。また、グループワークにより、彼ら自身の言葉や考えを作品に込めることで、障がいを持った人たちが生きる上での、現代日本の抱える問題を浮き彫りにすることができると考えている。</p> <p>700文字以内で入力 冒頭リンク「②インターネット申請の入力項目」の記入例をご参照下さい。</p>		
80目標			
81事業内容			
82事業成果物	活動写真 DVD チラシ 報告書	255文字以内で入力 本事業で制作する予定の事業成果物(報告書、整備した物品の写真など)の名前を記入	
85助成金申請額	7,176,000	86自己負担額	1,794,000
87事業費総額(自動計算)	8,970,000	助成金申請額、自己負担額(税込)は別に作成する収支予算と同じになるように記入	
88申請のきっかけ	以前日本財団に申請したことがある 「今年度の助成事業募集」について知ったきっかけを上記からご選択ください。(ひとつ)		
89登録者名	info@nicochan.jp	90登録日時	2015/10/30 10:08:18
91更新者名	info@nicochan.jp	92更新日時	2015/10/30 10:48:27

添付:申請書(Excel) [2016 日本財団助成申請.xls](#)

「申請送信」ボタンを押す前に、「申請書(Excel)」を添付してください。ファイルは日本財団公式サイトに掲載されています。

1時間以上経過すると入力データが消失します。画面下部にある一時保存ボタンで、入力内容をこまめに保存することをおすすめします。

